

# 令和2年度 第2回図書館協議会

資料

令和2年11月18日(水)

柏市立図書館



# 次 第

---

1 開会

2 部長挨拶

3 会長挨拶

4 報告事項

(1) 令和2年度事業報告（10月・11月分）

(2) G I G A スクール構想報告

(3) 令和2年度第1回柏市立図書館協議会の振り返り

5 協議内容

情報提供：「学校教育の中での図書館の活用について」

グループワーク：「社会教育施設として図書館が子どもたちに対してできることとは」

6 閉会

## 目 次

---

1	柏市立図書館協議会委員名簿 . . . . .	1
2	令和2年度事業報告（10月・11月分） . . . . .	3
3	G I G A スクール構想報告 . . . . .	5
4	令和2年度第1回柏市立図書館協議会の振り返り . . . . .	7
5	情報提供とグループワーク . . . . .	9

# 1. 柏市立図書館協議会委員名簿

令和2年11月18日現在

番号	選出区分	氏名	職等	役職
1	学校教育関係者	かとう けいこ 加藤 桂子	元柏市立酒井根小学校長 柏市学級経営アドバイザー	
2	〃	ささま ひろみ 笹間 ひろみ	柏市学校図書館コーディネーター	
3	〃	おおの みやこ 大野 都	柏市学校図書館アドバイザー	
4	社会教育関係者	まつきよ ともひろ 松清 智洋	NPO法人柏ソーシャルキャピタル協会理事	副会長
5	〃	はむら たいが 羽村 太雅	柏の葉サイエンスエデュケーションラボ会長	
6	〃	みやじま きりえ 宮島 衣瑛	一般社団法人 Coder Dojo Japan理事	
7	家庭教育の向上に資する活動を行う者	くぼた ともこ 窪田 友子	東葛飾地区母親読書センター会員	
8	〃	うえの ひろみ 上野 妃呂美	元柏市立保育園父母の会連合会長	
9	〃	ますやま あけみ 増山 暁美	柏ふれあいブックスタートの会副委員長	
10	学識経験者	みうら あきひろ 三浦 章宏	元千葉県立西部図書館長 千葉県立西部図書館主任上席司書	会長
11	〃	すがはら きょうこ 菅原 京子	高田松ヶ崎地域柏市民健康づくり推進員ブロック長	
12	〃	たんま やすひと 丹間 康仁	千葉大学准教授	
13	その他	たなか れいじろう 田中 礼二郎	公募委員	

(敬称略)

任期：令和元年6月1日から令和3年5月31日まで

## 柏市教育委員会 出席職員名簿

番号	所 属	職 名	氏 名
1	生涯学習部	部 長	宮島 浩二
2	図書館	館 長	橋本 賢一郎
3	〃	統括リーダー	柳川 行秀
4	〃	副主幹	千田 雅之
5	〃	副主幹	高野 幸子
6	〃	主査	川本 大輔
7	〃	主事	栗田 佳保里
8	生涯学習課	課長	沖本 雅樹
9	中央公民館	館長	山岡 康宏

## 2. 令和2年度事業報告（10月・11月分）

### 1 図書館システムのリプレイス

#### 【事業内容】

図書館システム（業務システム、図書館ホームページ、100台超の機器類）の入替を行い、令和2年11月3日（火）から新システムが稼働しました。なお、入替に伴い、10月19日から11月2日まで図書館全館を臨時休館としました。

#### ○新システムの特長

- ・資料検索結果画面に書影を表示
- ・資料の検索速度の向上
- ・読書記録機能の追加
- ・図書館職員によるホームページ編集が可能
- ・ホームページのリアルタイム更新が可能
- ・ホームページの初期値の保存容量が300GB（追加可能）

#### ○ホームページリニューアルのねらい

これまでのホームページは、資料の検索や予約機能が中心となっていましたが、新システムでは、編集機能の強化や保存容量の拡大が可能となっています。今後は、写真・デジタル化した地域資料・イベントや展示等の事業の記録など、図書館の持つ様々な情報の保存や発信に活用していく考えです。

また、利用者から要望が多くあった、書影の表示や読書記録機能の追加も実現しました。

## 2 中学生ビブリオバトル（予選：10/20～23，決勝：10/28）

### 【事業内容】

応募した21人（15校）の中学生によるビブリオバトルをオンラインで開催しました。4ブロックに分けた予選会では，参加校相互による投票で決勝に進む代表者を選出し，決勝戦では，審査員の投票によって，チャンプ本賞と準チャンプ本賞を選出しました。

決勝戦では，参加者同士や参加者と審査員の間で交流する時間を設け，本に関する話題で盛り上がりました。コロナ禍により初めてのオンライン開催となりましたが，参加者は環境に適応し，熱意あふれる書評合戦となりました。

○チャンプ本賞：柏市立中原中学校1年 大宮 芽生さん

いとう みく／著 『カーネーション』

○準チャンプ本賞：柏市立手賀中学校1年 林 菜々香さん

汐見 夏衛／著 『夜が明けたら，いちばんに君に会いに行く』



決勝戦の審査会場



決勝での交流の様子





### 3. G I G Aスクール構想報告

#### 1 G I G Aスクール構想の概要

G I G Aスクール構想とは、全国の学校で義務教育を受ける児童生徒に1人1台の端末と、高速大容量の通信ネットワークを令和5年度までに一体的に整備し、「誰一人取り残すことのない、個別最適化された学びの実現」を目指すものです。

#### 2 G I G Aスクール構想の施策パッケージ

##### 「児童生徒1人1台コンピュータ」の実現を見据えた施策パッケージ

###### <ハード> ICT環境整備の抜本的充実

- 児童生徒1人1台コンピュータを実現（1台当たり4.5万円を補助。令和5年度までに、小中全学年で達成）
- 高速大容量の通信ネットワーク（令和2年度までに、全ての小・中・高校・特別支援学校等で校内ネットワークを完備（1/2補助））
- 全国の自治体や学校が、より容易に、より効率的・効果的な調達ができるよう支援（モデル仕様書を提示、都道府県レベルでの共同調達の推進、調達説明会の開催）

誰一人取り残すことのない、個別最適化された学びの実現に向け、  
**来年1月、全国の首長・教育長等を対象とした「学校ICT活用フォーラム」を開催し、ハード・ソフト・指導體制一体で、全国各地での取組を加速化**  
**民間企業等からの支援・協力による、ハード・ソフト・指導體制の更なる充実**

###### <ソフト> デジタルならではの学びの充実

- デジタル教科書・教材など良質なデジタルコンテンツの活用を促進（来年度から順次全面実施となる新学習指導要領とセットで）
- 各教科等ごとに、ICTを効果的に活用した学習活動の例を提示（「教育の情報化に関する手引」を公表・周知）
- AIドリルなど先端技術を活用した実証を充実（来年度中に「先端技術利活用ガイドライン」を策定）

###### <指導體制> 日常的にICTを活用できる体制

- （独）教職員支援機構による、各地域の指導者養成研修の実施（来年1月に実施）
- ICT活用教育アドバイザーによる、各都道府県での説明会・ワークショップの開催（来年度から全都道府県に配置）
- ICT支援員など、企業等の多様な外部人材の活用促進（令和4年度までに、ICT支援員は4校に1人程度配置）

###### 今後の主な 検討課題

- ✓ 教師の在り方や果たすべき役割、指導體制の在り方、ICT活用指導力の向上方策（今年度中を目途に方向性）
- ✓ 先端技術の活用等を踏まえた年間授業時数や標準的な授業時間等の在り方、学年を超えた学び（早急に検討）
- ✓ デジタル教科書の今後の在り方（来年度中を目途に方向性）

文部科学省ホームページより

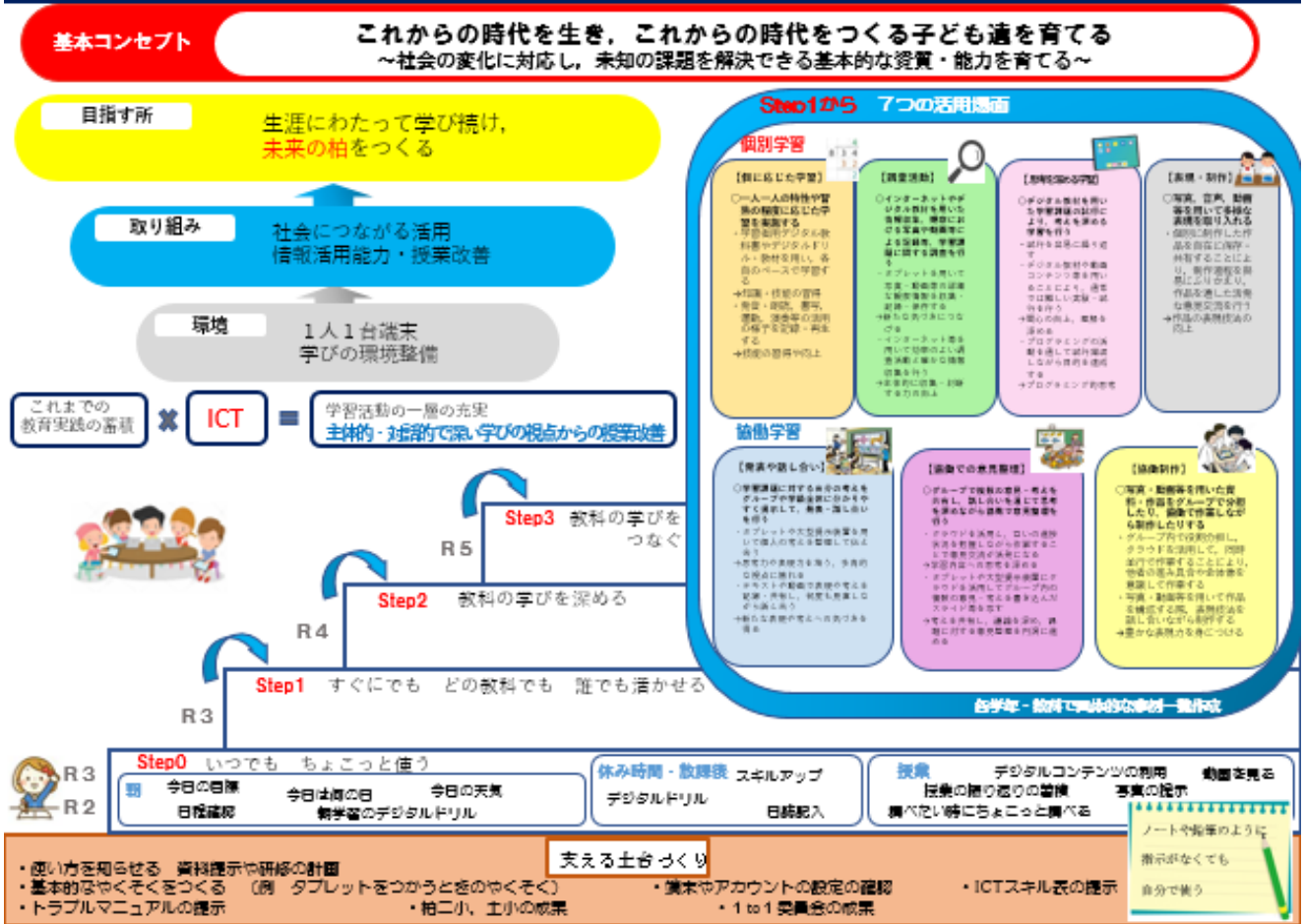
([https://www.mext.go.jp/a\\_menu/other/index\\_00001.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/other/index_00001.htm))

### 3 柏市のGIGAスクール構想について

柏市教育委員会では、令和3年3月末までに、児童・生徒への1人1台端末と、通信ネットワーク環境を整備し、この構想を進めていきます。

#### 柏市における1人1台端末の活用「柏市GIGAスクール」

柏市教育委員会



### 4 図書館の今後の方向性

今後柏市立図書館では、『柏市GIGAスクール』における「社会につながる活用」方法等について、学校と連携を図りながら検討していきます。

## 4. 令和2年度第1回柏市立図書館協議会の振り返り

○前回グループワーク（テーマ『今後の地域資料の収集・保存・活用に関する意見出し』）での意見から、今回のテーマにつながりそうな意見を抜粋しました。

### 【SNS等での発信】

- ・まず地域に乗り込んでいって情報提供をして少し掘り起こしをする、いわゆるフィールドワークをしたり、SNS等の真偽はともかく、そういった発信をして受信してもらい、まとめていって情報として精査する。
- ・「柏市の今日です」というようなページを作っておいて、誰でもアクセスできるようにする。

### 【学校（子ども）】

- ・小学校3年生で柏のことを勉強している。まずやらなきゃいけない人たちからの情報を集めたら一番早い。それを手伝った親御さん達が、こういうことが分かったからじゃあそれも所蔵してもらおうとか、そこから広げていくのも一つ。
- ・調べた子が投稿できる状態を作っておけば、その子が4年生になったときに、何かがあったら投稿しようという子が増えていけば、ゆくゆくは収集されるものが広範囲に偏らなくなる。
- ・柏市の歴史は市内見学でも大事。こういうものが柏市にあるということを教えていただきたい。

### 【地域とのつながり・連携】

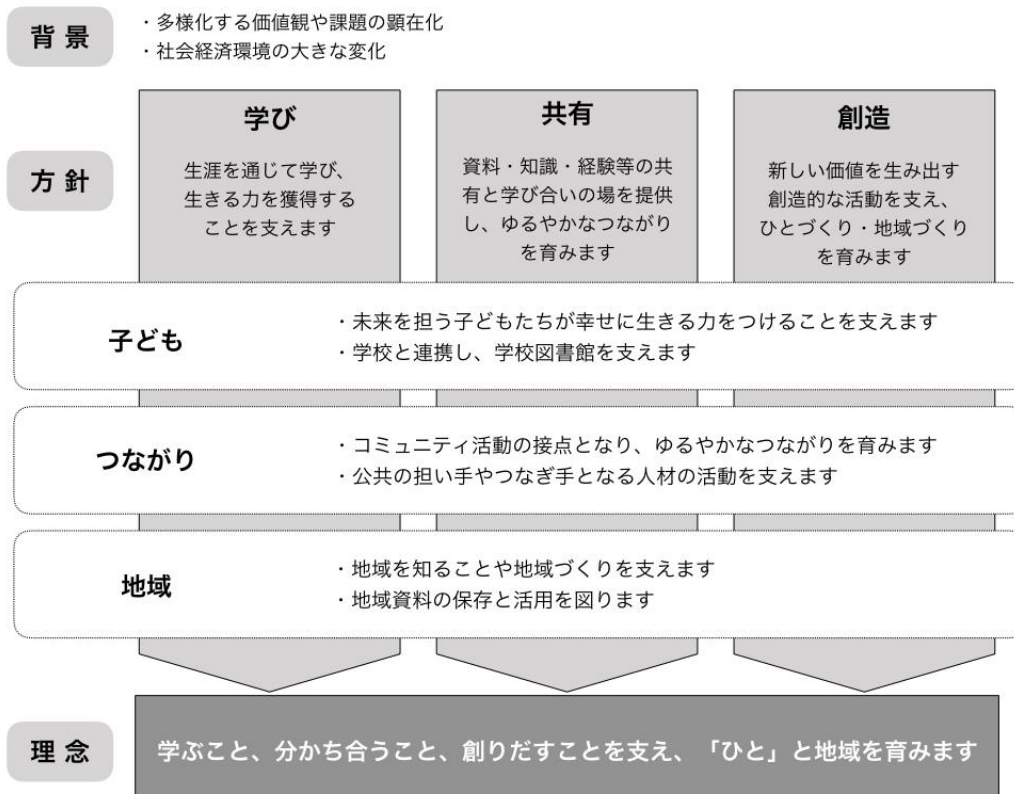
- ・地域ということに絡ませていかないと当事者意識、連携にならない。学校でやろうとすると地域の人たちに聞きにいかないといけない。
- ・地域の人と一緒にやらないと、子どもだけで学校だけでは何もできない。そこで聞きに来た時に初めてこの人が当事者になる。
- ・そこに行けば柏市のこと分かるというコーナーがあればいいと思う。
- ・地域資料の収集は目的ではなくて方法であり、地域を持続させるとかふるさとが今後100年後、200年後続いてほしいとか、そういう中で自分たちの子どもであるとか孫であるとか育ててほしいということであって、その部分をまず抑えておかなければ。
- ・柏市のことを学べる、そういう本とか、歴史書とかコーナー、そういったものを未来の子どもたちに残していく、そういうことが求められるのではないかと。

- ・おそらくこの地域資料として集まってくるものは、子どもにとっても、地域の皆さんにとっても魅力的なものなのだと思う。なのでそういった魅力をどういう風に続けていくのか、伝えていくのかということが大事なのではないかな。

**【きっかけ】**

- ・本館の他に分館がたくさんあるので、そこで資料を集めてイベント等ができるのではないかな。
- ・図書館に行ってみようという気を起こさせるのが大事。
- ・未来のために収集して保存しないといけないというのがあるけれども、私たちが今収集しないと、保存しないと、埋もれてしまってなくなってしまいうんじゃないかというのが分かっていないんじゃないか。それに気づく機会、講演会とか色々お話を聞くような、地域には素晴らしいものがあるよとかみんなに広くアナウンスする必要があるのではないかな。

**【参考】 『柏市図書館のあり方』 P.2 概念図**



## 5. 情報提供とグループワーク

### 1 情報提供

テーマ『学校教育の中での図書館の活用について／笹間委員』

(45分)

※情報提供から得た「気づき」を3つ程度、ピンク色の付箋に書き出して下さい。

### 2 グループワーク

テーマ『社会教育施設として図書館が子どもたちに対してでき

ることとは』(60分)

#### 【グループ分け】

・ Aグループ

加藤委員，大野委員，宮島委員，上野委員，増山委員，三浦委員，丹間委員

・ Bグループ

笹間委員，松清委員，羽村委員，窪田委員，菅原委員，田中委員

#### 【進め方】

- ①情報提供から得た「気づき」を記入したピンク色の付箋を，グループ内で共有しながら模造紙に貼付してください。
- ②『社会教育施設として図書館が子どもたちに対してできる』具体的な取り組みのアイデアを黄色の付箋に記入してください。
- ③アイデアを記入した黄色の付箋を，グループ内で共有しながら模造紙に貼付してください。
- ④グループ毎に発表をお願いします。